

平成 28 年 3 月 3 日
住 民 課 環 境 係

平成 27 年度ヤンバルトサカヤスデ調査について

調査場所 東京都八丈町 37 か所（第 1 表および第 1 図参照）

調査月日 第 1 回目：2015 年 9 月 1 日～3 日
第 2 回目：2015 年 10 月 6 日～8 日
第 3 回目：2015 年 11 月 10 日～12 日
第 4 回目：2015 年 12 月 15 日～17 日
第 5 回目：2016 年 1 月 26 日～28 日

調査目的

ヤンバルトサカヤスデの大量発生防止に向けて、島内生息個体数および群遊状況の調査を行った。

調査方法

生息密度調査：島内 37 か所の生息場所（腐葉土内）におけるヤンバルトサカヤスデの発生状況および生息密度を調査した。

群遊状況の調査：島内 37 か所の昼間の集合状況および夜間の徘徊状況を調査した。また島内 3 か所で発生程度の聞き取り調査を行った。

調査結果

●発生概況

昨年度の 9 月時の調査ではすでに日中の集合が認められたが、今年度は 9 月の調査では日中の集合は見られなかった。また夜間の徘徊も観察されなかった。腐葉土に生息していたのは 6 令幼虫（*）が 1 か所 1 頭のみであった。10 月は調査地点では発生は認められなかった。11 月には腐葉土での生息が認められ、夜間の徘徊も認められたが、いずれの地点でも発生量はわずかであった。日中の集合は見られなかった。発生は成体が主であった。12 月には生息か所は増加したが、夜間の徘徊か所数は横ばいであった。日中の集合は見られなかった。1 月は生息か所および夜間の徘徊か所数は減少し、日中の集合も見られなかったことからヤンバルトサカヤスデ発生は極小発生のまま終息へと向かっているものと思われた。坂下地区西側の町道（薬剤散布）へのヤンバルトサカヤスデの流入は今年度は認められなかった。

*1～6 令幼虫→亜成体→成体と成長していく。

●月別発生状況（第2図、第3図、第4図）

9月調査時には「名護の展望台牛舎壁面」の1か所（3%）のみでヤンバルトサカヤスデの腐葉土内での生息が確認された（1頭：6令幼虫）。定点調査地点以外の「地熱館」、「みはらしの湯」、「末吉出張所」での聞き取り調査では、発生および侵入は確認されなかった。

10月調査時にはいずれの調査地点でも腐葉土内の生息、「地熱館」、「みはらしの湯」、「末吉出張所」においても発生および徘徊は確認されなかった。

11月調査時には調査地点の12か所（32%）で発生が確認された。夜間の徘徊は大賀郷地区の1か所、三根地区の1か所、檜立地区の2か所、計4か所（11%）で観察された。徘徊個体数は少なく集団的徘徊は見られなかった。夜間の徘徊が見られた地点の腐葉土内での生息数はいずれの地点においても200頭（1㎡当たり換算値）以下であった。腐葉土内で確認された個体の97%は成体で残りは亜成体であった。「地熱館」で頻繁な屋内への侵入が確認された。「みはらしの湯」、「末吉出張所」ではまれに徘徊が確認される程度であった。

12月調査時には調査地点の21か所（57%）で発生が確認された。腐葉土内で確認された個体の99.7%は成体で残りは亜成体であった。夜間の徘徊が観察されたのは三根地区の2か所、中之郷地区の2か所、計4か所（11%）であった。徘徊個体数は少なく集団的徘徊は見られなかった。定点調査地点以外の「地熱館」、「みはらしの湯」、「末吉出張所」では「地熱館」で屋内への侵入が毎日数頭程度の侵入が見られ、「みはらしの湯」、「末吉出張所」ではまれに徘徊が確認される程度であった。11月と比較して腐葉土内での生息地点は増加したものの夜間の徘徊が確認された地点は減少した。

1月調査時は調査地点の12か所（32%）で発生が確認された。腐葉土内で確認された個体の99.5%は成体で残りは亜成体であった。夜間の徘徊は大賀郷地区で2か所、三根地区で1か所の計3か所（8%）確認された。いずれも徘徊個体数は少なく集団的徘徊は見られなかった。夜間の徘徊が見られた地点の腐葉土内での生息数は、為朝神社付近および三根永郷分団詰所付近で200頭（1㎡当たり換算値）を超えた程度で、車海老養殖場跡付近では生息は確認されなかった。「地熱館」、「みはらしの湯」、「末吉出張所」では発生および侵入は確認されなかった。発生が認められた地点は12月と比較して減少し、また「地熱館」周辺においてもヤンバルトサカヤスデの移動が見られなくなったことから、本年度の発生は極小発生のまま終息へ向かっていると考えられた。

ヤンバルトサカヤスデの日中の集合、坂下地区西側の町道（薬剤散布）への山麓からの流入、昨年度9月に発生が認められた地点（末吉、大賀郷）での発生および大賀郷のしんのうやし園における生息は今年度は認められなかった。

●地域別発生状況（第2図、第3図、第4図）

坂上地区、坂下地区の調査地点間に発生の明確な差は認められなかった。

●調査個体の令構成（第5図）

9月は1頭のみ確認で6令幼虫であった。10月の調査では発生が認められなかった。11月以降は成体が主となった。11月以降の令構成は昨年度と変わらず、生育の遅延は認められなかった。

考察

●発生要因

今年度八丈島でヤンバルトサカヤスデがほとんど発生しなかった要因としては、8月の降水量が少なかったことが考えられる。しかしある程度ヤスデの発生の認められた一昨年と同月よりは降水量は多かったことから、逆に4月、6月、7月の降水量が平年より多かったことが幼虫の生存に影響した可能性も考えられる（第6図）。年間の総降雨量は一昨年、昨年より多く、発生量の年次変動とは無関係と思われる（第7図）。なお気温は平年並みの推移であった。気温も発生量の年次変動とは直接関係はないものと思われる（第8図）。

今年度、ヤンバルトサカヤスデの発生量は極めて少なかったことから、来年度に大発生する可能性は少ないと思われる。しかし降雨の状況によってはヤンバルトサカヤスデの発生が増加する可能性はあり、発生源になる環境をなくすなどの注意が必要であると思われる。

●発生の地域差

今年度は坂上地区、坂下地区共ヤンバルトサカヤスデの発生が少なく、調査地点では両地域間の量的な差は見られなかった。しかし坂下地域では標高の高い場所からの移動もほとんど見られなかったのに対して、坂上地区では標高の高い「地熱館」周辺では集団移動が見られた。ヤンバルトサカヤスデの生存に厳しい気象条件でも、坂上地区の標高の高い地域では生き延びる率が高いと推測される。

今後の方向

●発生源対策

今年度は発生が見られなかったが、坂下地区西側の町道での発生源対策は、来年度以降も引き続き継続していく。また早期の亜成体による群遊が認められた場合は、群遊個体の駆除、近隣地域の落ち葉の除去および雑草の下刈りなどを住民の協力を得て実施していく。

●調査時期および方法

来年度も今年度と同様の時期から調査を始める。

群遊状況の早期の把握のために夜間調査を最初から実施する。

第1表 ヤンバルトサカヤスデ発生状況調査地点一覧

地点名	
1	尾越の水汲場跡周辺
2	末吉郵便局前(地点標23付近)周辺
3	みはらしの湯周辺
4	角尻川の橋(地点標122付近)周辺
5	名古屋の展望台牛舎壁面(地点標21付近)
6	末吉～中之郷境(地点標19付近)周辺
7	しんのうやし雌雄原株周辺
8	地表点15付近周辺
9	えこ・あぐりまーと周辺
10	裏見ヶ滝遊歩道周辺
11	ザ・BOON周辺
12	ゴルフクラブ上周辺
13	乙千代ヶ浜手前道路周辺
14	檜立運動場周辺
15	團伊玖磨アトリエ周辺
16	ふれあいの湯周辺
17	人捨て穴入り口周辺
18	大坂トンネルの展望台(地表点4付近)周辺
19	為朝神社(地表点2付近)周辺
20	ふるさと村駐車場周辺
21	歴史民俗資料館裏周辺
22	ほたる水路トイレ周辺
23	火葬場周辺
24	国民宿舎 サン マリーナ周辺
25	水産試験場裏周辺
26	地点標57周辺
27	第一長の入橋(地点標60付近)周辺
28	釣り場オアサネ入口(地点標61付近)周辺
29	釣り場赤崎入口(地点標63付近)周辺
30	三根永郷分団詰所(地点標66, 67中間付近)周辺
31	八丈富士永郷線入口(地点標67付近)周辺
32	大越園地休憩舎周辺
33	地点標69周辺
34	地点標71周辺
35	地点標73周辺
36	地点標76, 77中間周辺
37	南原千畳岩海岸 車海老養殖場跡周辺

第1図 ヤンバルトサカヤスデ発生状況調査地点

地点標 69 周辺

大越園地休憩舎周辺

八丈富士永郷線入口周辺

三根永郷分団詰所周辺

釣り場赤崎入口周辺

釣り場オアサネ入口周辺

第一長の入橋周辺

地点標 57 周辺

水産試験場裏周辺

国民宿舎 サン マリーナ周辺

地点標 71 周辺

地点標 73 周辺

火葬場周辺

地点標 76,77 中間周辺

ほたる水路トイレ周辺

南原千畳岩海岸

車海老養殖場跡周辺

歴史民族資料館裏周辺

尾越の水汲場跡周辺

ふるさと村駐車場周辺

角尻川の橋周辺

為朝神社周辺

末吉郵便局前周辺

しのうやし雌雄原株周辺

みはらしの湯周辺

大坂トンネルの展望台周辺

人捨て穴入口周辺

ふれあいの湯周辺

名古の展望台牛舎壁面

團伊玖磨アトリエ周辺

榎立運動場周辺

ゴルフクラブ上周辺

末吉~中之郷境周辺

乙千代ヶ浜手前道路周辺

ザ・BOON 周辺

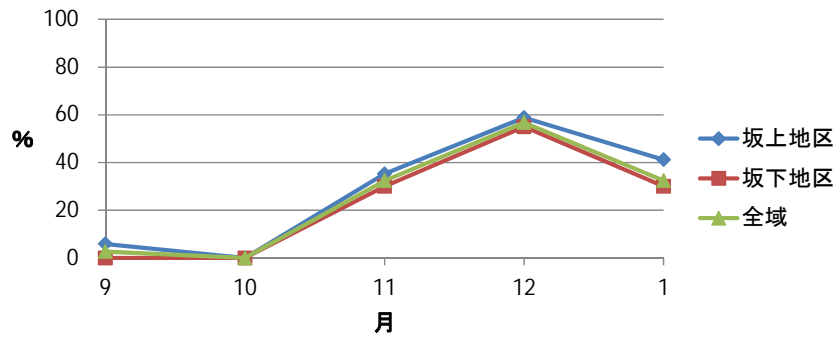
裏見ヶ滝遊歩道周辺

地点標 15 周辺

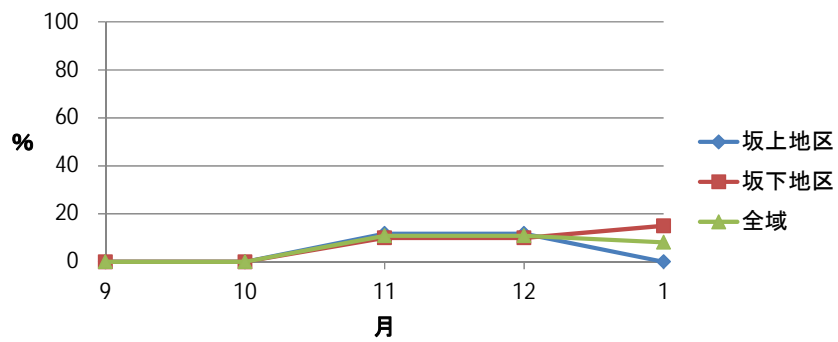
えこ・あぐりまーと付近



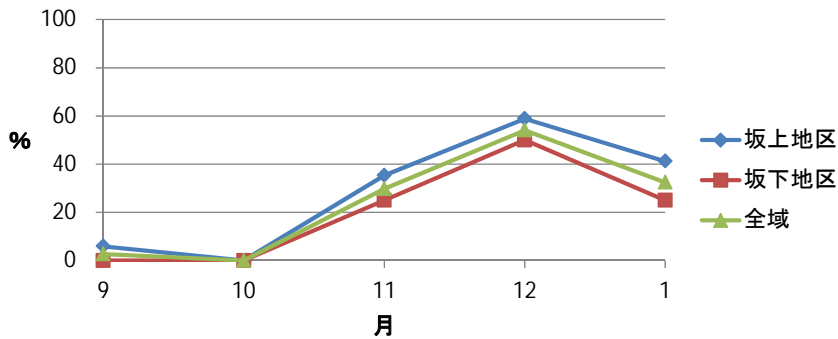
第2図 ヤンバルトサカヤスデ発生(生息, 夜間徘徊)か所率



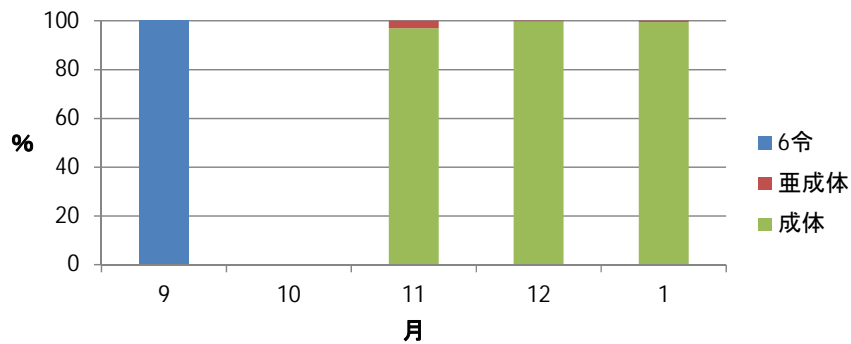
第3図 ヤンバルトサカヤスデ夜間徘徊か所率



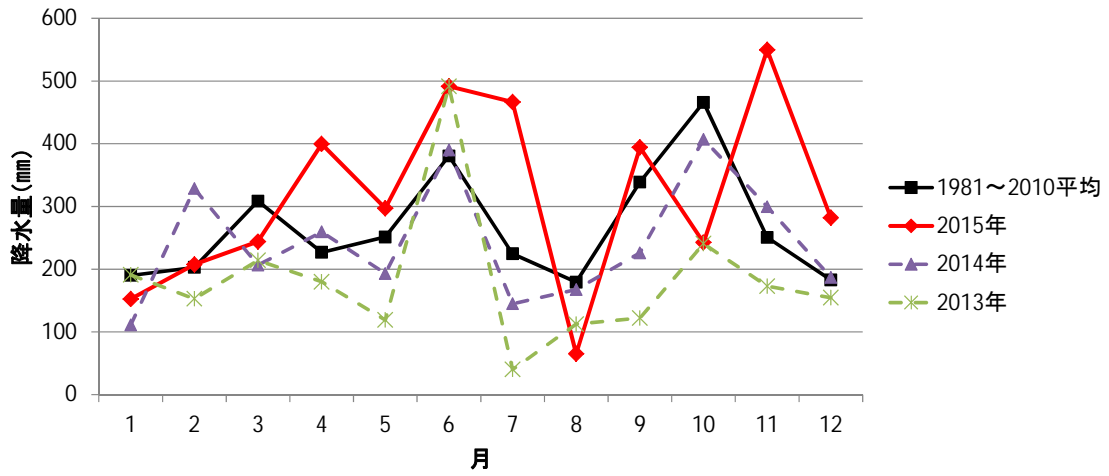
第4図 ヤンバルトサカヤスデ腐葉土内生息確認か所率



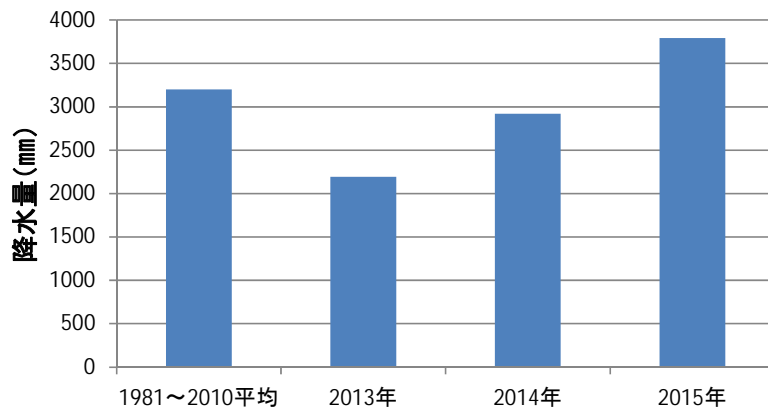
第5図 調査個体の月別令構成



第6図 八丈町月別降水量(気象庁のHPより)



第7図 八丈町の年間降水量(気象庁のHPより)



第8図 八丈町月別平均気温(気象庁のHPより)

